令和3年3月25日 令和2年度第2回医療機器· 再生医療等製品安全対策部会

資料 3-1-2

感染症定期報告感染症別文献一覧表(再生医療等製品 2020/4/1~2020/9/30)

	<u> </u>	宋证別又\ 見衣	<u> 再生医療等製品 2020/4/1~2020/9/30)</u>
ID	感染症(PT)	出典	概要
1	COVID-19肺炎	WHOホームページ. https://www.who.int/csr/ don/05-january-2020- pneumonia-of-unkown- cause-china/en/	2019年12月31日、世界保健機関(WHO)の中国事務局は、中国湖北省武漢市において検出された原因不明の複数の肺炎症例について通知を受けた。
2	COVID-19肺炎	WHOホームページ. https://www.who.int/docs /default- source/coronaviruse/situ ation-reports/20200312- sitrep-52-covid-19.pdf	2020年3月12日に開催された加盟国説明会において、WHOは新型コロナウイルスのアウトブレイクをパンデミック(制御可能なパンデミック)とみなしている。
3	COVID-19肺炎		WHOの緊急委員会は、日本時間の2020年1月31日未明、中国湖北省武漢市における新型コロナウイルス関連肺炎の発生状況が「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」に該当すると発表した。
4	COVID-19肺炎		2020年6月25日現在、本邦での新型コロナウイルス感染症の感染者は18,110例、死亡者は968名である。また、入院治療等を要する者は816名、退院又は療養解除となった者は16,320名である。
5	コロナウイルス感 染	ProMED-mail 20200121.6901757	中国で拡大している新型コロナウイルスによる肺炎を調査している中国の専門家は、 ヒトからヒトへの感染が確認されたと述べた。
6		WHO ホームページ https://www.who.int/csr/ don/12-january-2020- novel-coronavirus- china/en/	新型コロナウイルスのアウトブレイクは中国武漢市の1つの海産物市場での曝露と関連性が強く示唆され、この市場は2020年1月1日に閉鎖された。中国当局は、2020年1月7日に新型コロナウイルスを分離し、同定した。1月11日及び12日に中国当局からWHOに伝えられたた情報によると、武漢市で新型コロナウイルス感染が暫定的に41例診断され、症状の発症日は、2019年12月8日~2020年1月2日であった。41例中7例が重症で、基礎疾患がある1例においては死亡が報告された。
7	パルボウイルス感 染	PLOS One. 15(2020) e0229993	2013年から2016年に、ブラジルのトカンティンス州及びアマパ州においてデング熱様症状を呈した患者から採取された血漿検体より、新規のAmbidensovirus属ウイルス及びChapparvovirus属ウイルスが確認された。
8	パルボウイルス感 染	Virus Genes. (2020)doi:10.1007/s11262 -020-01757-1	ブタの糞から得られたE型肝炎ウイルスに感染させたA549細胞の細胞培養上清をメタゲノム解析したところ、新規パルボウイルスが細胞培養汚染物質として同定された。 液滴デジタルPCR(ddPCR)を使用して細胞培養上清のウイルス量を決定し、ddPCR 及びDNAシーケンシングによりさらなる分析を進めたところ、細胞培養中に使用したウシ胎児血清がパルボウイルス汚染の原因であることが示された。
9	ウイルス感染	IASR. 41(2020)11–13	マダニと思われる虫刺咬後、発熱と下肢痛を主訴に受診し、過去に報告されていない新規オルソナイロウイルスが検出された北海道在住の40歳代男性の症例報告である。患者の病態からウイルス性熱性疾患が強く疑われ、遺伝子解析により患者血清及び尿から新規のオルソナイロウイルスを検出し、Yezo virusと命名した。患者は入院治療後、後遺症なく退院した。
10	ウイルス感染	ProMED-mail 20191129.6803152	日本において、サルの動物実験を実施した医薬品開発企業の従業員1例がBウイルスに感染した。海外では感染例が約50例認められているが、日本で感染が確認されたのは、本症例が初めてである。
11	ウイルス感染	ProMED-mail 20200201.6937053	マダニと思われる虫刺咬後、発熱と下肢痛を主訴に受診し、過去に報告されていない新規オルソナイロウイルスが検出された北海道在住の40歳代男性の症例報告である。患者の病態からウイルス性熱性疾患が強く疑われ、遺伝子解析により患者血清及び尿から新規のオルソナイロウイルスを検出し、Yezo virusと命名した。患者は入院治療後、後遺症なく退院した。
12	ボレリア感染	第60回日本熱帯医学会大 会(2019/11/08- 2019/11/10)P-46	ザンビア共和国において、洞窟でダニに噛まれて発熱した患者の血液から未知のボレリア属細菌が単離された。遺伝子解析の結果、未知のボレリア属細菌は単系統を形成しており、Candidatus Borrelia fainiiと命名された。